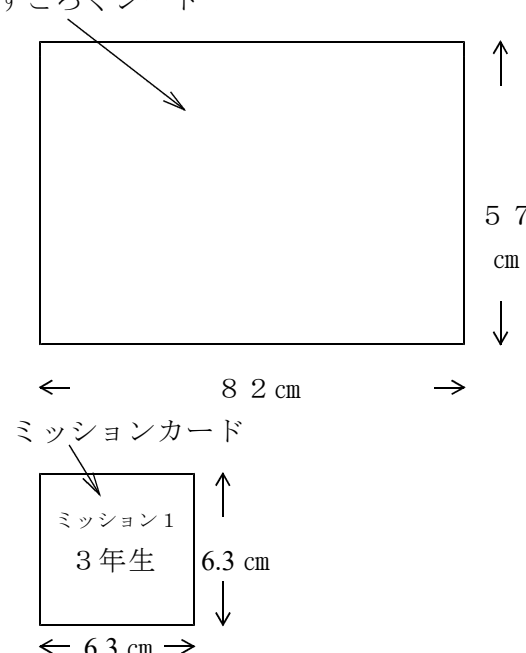
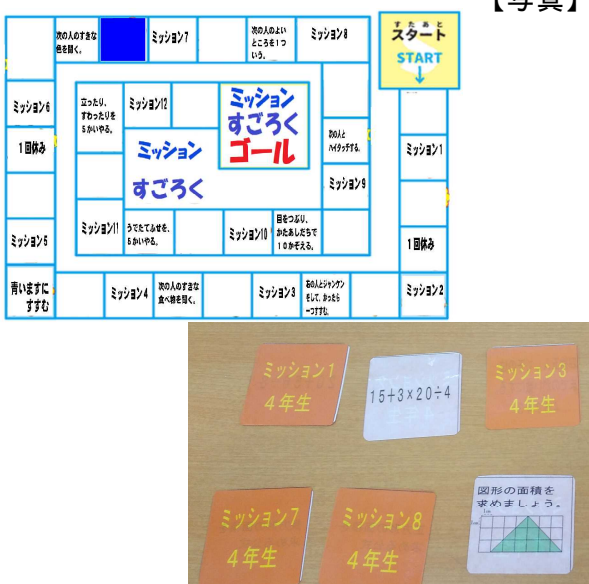


自作教具の活用事例

【作品名】 算数ミッションすごろく	【学校名】 日立市立日高小学校
【活用できる領域・教科等】 算数科 自立活動	【制作者名】 小川 敦志
【制作の意図】 自閉症・情緒障害特別支援学級において算数の授業を多学年複数児童で行う場合、学習内容が全く違うので、児童たちが楽しみながら一体感を感じ、授業での学習意欲を高めることを狙った。	【使用の方法】 ① 2～4人で行う。通常のすごろくと同様に進める。 ② ミッションの枠に止まったら、そのミッションナンバーと同じ番号のカードを、あらかじめ個別に配られたミッションカードから取り出す。 ③ そこに表示されたミッションに挑戦し、クリアしたら1マス進める。
【制作上の工夫】 ミッションに表示されたミッション内容は、その時点での個別の学習内容に合わせており、学習して得られた知識が、ゲームの中で生かされていることを感じられるようにした。	【見取り図】 すごろくシート  82 cm 57 cm MISSION CARD MISSION 1 3年生 6.3 cm 6.3 cm
【写真】 	【使用効果と応用発展】 小集団の授業の中で活用できる。 算数だけではなく、他の教科や自立活動において、個に応じた課題をミッションとして設定できる教科領域において活用できる。
【材料・材質・部品等】 印刷用紙 ラミネートシート サイコロ	